

J.S.バッハ(Mika編曲):
バイオリン無伴奏パルティータ第2番より
シャコンヌ

チック・コリア: クリスタルサイレンス

ビル・ダグラス: ジュビレーション

挟間美帆: マリンバコンチェルト No.1

キース・ジャレット: メモリーズ オブ トウモロコシ
他

M I K A は活気にあふれた
クリエイティブな精神の持ち主で
触れるものすべてを生き生きとさせます!

チック・コリア—グラモフォン誌より

60th Birthday Celebration
マリンビスト

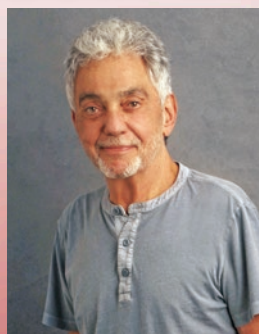
Mika Is A Bubbling And Creative Spirit
She Bringing Everything
Touches To Life!
Chick Corea

ミカ・ストルツマン

デビュー25周年記念リサイタル

Mika Stoltzman

25th debut anniversary



ドラム
スティーヴ・ガッド
Steve Gadd,
drum



クラリネット
リチャード・
ストルツマン
Richard Stoltzman,
clarinet



エレクトーン
渡辺睦樹
Mutsuki Watanabe,
electone



ピアノ
塩谷哲
Satoru Shionoya,
piano



(ゲスト) ソプラノ
田中彩子
Ayako Tanaka,
soprano



ベース
井上陽介
Yosuke Inoue,
bass

2024

9/24 (火) 19:00開演 (18:30開場) 浜離宮朝日ホール

チケット料金: 6000円(全席指定/税込) チケットぴあ: [https://t.pia.jp/\[Pコード 269-663\]](https://t.pia.jp/[Pコード 269-663])

お問い合わせ: 株式会社クレオム info@creomu.com 協力: ヤマハミュージックジャパン

微光を放つテクスチュアに込められた バッハの多声の思いを表出させたミカ・ストルツマンの想像力だろう。 見事というしかない。思いがけない傑作だ。

★★★★★ AllMusic

マリンバ
ミカ・ストルツマン
Mika Stoltzman, *marimba*



2008年ニューヨークに移住してNYを拠点に演奏活動を展開し現在はボストン在住。2000年トロント大学上級演奏学科修了後、2001年東京王子ホールNYカーネギーホールでリサイタル開催して本格的に演奏家としてデビュー。これまでに11回に渡るNYカーネギーホールでのリサイタル開催を始め、夫リチャードとのデュオでオースチン室内楽音楽祭、ロックポート室内楽音楽祭、香港現代音楽祭、サンミゲル音楽祭、クレモナ音楽祭など多数出演。又スティーヴ・ガッドとのプロジェクトMIKARIMBAで、ブルーノートNY&東京などの日米の主要ジャズクラブ、カイロ、ロックポート等のジャズフェスティバル、PASIC2005,2007出演などニュー・ジャンルのマリンビストとして現在までに世界22カ国66都市で公演を行っている。これまでに10枚のCDアルバムと2枚のLP、ライブDVDをリリース。2001年S.ライヒの「東京/バーモント・カウンターポイント」を編曲演奏してライヒ本人のCD『Triple Quartet』(ノンサッチ)に収録されブージー&ホークスから楽譜も出版。協奏曲ソリストとしては九州交響楽団、関西フィル、ソノバトヘイ交響楽団、ポーランド国立室内楽団、メキシコ・ハラバ交響楽団、イタリア・マッペリ室内管弦楽団など協演。2019年リリースしたCD「Palimpsest」に収録されたソロマリンバによるバッハ/シャコンヌは、グラモフォン誌始めとする各メディアで絶賛を博し、AllMusicで「圧巻は多分「無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第2番(BWV1004)」の中の傑作、シャコンヌの編曲版によって、微光を放つテクスチュアに込められたバッハの多声の思いを表出させたミカ・ストルツマンの想像力だろう。見事というしかない。思いがけない傑作だ。」と5星獲得。又このシャコンヌ編曲版はカイザーミュージックより楽譜出版されている。
オフィシャルWebsite <https://mikarimba-stoltzman.com>

ドラム
スティーヴ・ガッド
Steve Gadd, *drum*



名実共に誰もが認める世界最高峰ドラマー。完璧なテクニック、唯一無二のグルーヴで「ドラムの神様」と称される。ジャンルを超えてのビッグネーム達との共演歴、そして驚異的な数のレコーディング&ツアーを行い、現在でもポール・サイモン、ジェームス・テイラー、エリック・クラプトンと言ったミュージシャンにとっては欠かす事の出来ない存在である。又自身のGaddバンドでもグラミー賞を受賞するなど精力的に活躍している。マリンバ奏者ミカ・ストルツマンとは2007年からレコーディングをプロデュースして共演を続けている。

<https://www.drstevegadd.com/>

クラリネット
リチャード・ストルツマン
Richard Stoltzman, *clarinet*



数多くのオーケストラとの共演を重ねるソリストとして、魅惑的なリサイタリストとして、革新的なジャズ奏者として、また、多作なレコーディング・アーティストとして、2度のグラミー賞受賞の榮譽に輝いているストルツマンは、様々なジャンルの批評家、聴衆から圧倒的な支持を受け続けている。彼は、ハリウッドボウルとカーネギー・ホールでクラリネット・リサイタルを行った最初のアーティストであり、エヴリー・フィッシャー賞を受賞した最初の管楽器奏者でもある。ディスコグラフィは60を優に超えており、リチャード・グードとの共演で録音したブラームスのソナタ、さらにヨーヨー・マとエマニュエル・アックスと行ったモーツァルト、ベートーヴェン、ブラームスの三重奏曲集で、2度グラミー賞を受賞。75歳を記念した「コンプリートRCAアルバム・コレクション」(CD40枚組)が2017年に発売された。

オフィシャルWebsite www.richardstoltzman.com

エレクトーン
渡辺睦樹
Mutsuki Watanabe, *electone*



インターナショナルエレクトーンフェスティバル'88にて最優秀賞。ハンブルク音楽院・ハンブルク音楽大学にて、作曲理論・ピアノ・声楽伴奏を学ぶ。オペラや協奏曲のエレクトーン伴奏にて多数のアーティストと共演。現在までにアルバム5枚をリリース。確かな音楽性と豊かな感性による作品解釈、演奏表現は常に高い評価を得ており、名実共にクラシック演奏第一人者として活躍。国立音楽大学、洗足学園音楽大学、名古屋音楽大学にて後進の指導にも当たっている。

ピアノ
塩谷哲
Satoru Shionoya, *piano*



東京藝術大学作曲科出身。ソロアーティストとして現在まで12枚のオリジナルアルバムを発表。Bunkamuraオーチャードホール主催のコンサートシリーズ「COOL CLASSICS」(99年~01年)のプロデュース、オーケストラとの共演(2017年大阪交響楽団、2017、18年NHK交響楽団、23年東京フィルハーモニー交響楽団)等、活動のジャンル・形態は多岐に渡る。メディアではNHK「名曲アルバム」にオーケストラ・アレンジを提供する他、現在はNHK Eテレ音楽バベットバラエティ番組「コレナンデ商会」(2016年~2022年3月)の音楽を担当。現在、国立音楽大学ジャズ専修准教授。(敬称略)

<https://www.earthbeat-salt.com>

(ゲスト) ソプラノ
田中彩子
Ayako Tanaka, *soprano*



18歳で単身ウィーンに留学。22歳でスイスベルン州立歌劇場にて同劇場日本人初かつ史上最年少でソリスト・デビューを飾る。その後ウィーン、パリ、ロンドン等、国内外問わずグローバルな活動を続けている。日本でも2014年のデビュー以来、国内での演奏活動を重ね、MBS『情熱大陸』やNHKBS「ザ・ヒューマン」などのメディアにも多数出演。2019年Newsweek誌「世界が尊敬する日本人100」に選出。様々な環境に置かれる子ども達に音楽を通じた教育プログラムを考えていく一般社団法人 Japan MEP/代表理事、エルシステマ舞鶴子どもコーラス特別顧問、学校法人AIC/鷗州学園理事長。

ベース
井上陽介
Yosuke Inoue, *bass*



日本を代表するベーシストとして自己のグループ他、塩谷哲、大西順子、渡辺香津美、のレギュラーメンバーとして活動の他、数々のセッションに参加し日本のみならず海外でも精力的に活動。ジャズのみならず、佐藤竹善、JUJU、小野リサなどの様々なジャンルのサポートでも活動。これまで、ドンフリードマン、ハンク・ジョーンズなどの数々のグループでのレコーディング、ライブハウス、ヨーロッパツアーでの演奏など国際的に活動。なお2007年度から3年連続スイングジャーナルの人気投票では1位など常に上位にランクされる。1昨年「チックコリアトリビュートバンド」でミカ&リチャード・ストルツマン、スティーブ・ガッドと共演。